

PRESS RELEASE

エドモンド・オプティクス、光干渉断層計用と拡散反射ファントムの追加で、 製品ポートフォリオを光学部品枠外に拡張

2025年2月(東京都文京区) -

光干渉断層計用と拡散反射ファントムの標準ラインナップ追加で、
最適化されたバイオイメージングが在庫販売品で可能に



Edmund Optics® の日本法人、エドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社は、光干渉断層計 (OCT) 用ファントムと拡散反射ファントムを同社の広範な製品ポートフォリオに加えることを発表した。研究および臨床アプリケーションにおけるイメージングシステムのキャリブレーションと最適化のために、研究者やエンジニアがすぐに使用できる標準化されたツールを在庫販売で提供する。

エドモンド・オプティクス社の新しく追加された光干渉断層計 (OCT) 用ファントムは、正確で信頼性の高い測定を確保するため、屈折率、散乱係数、吸収係数などの光学特性を良好に特性化し、OCT システムのテストやキャリブレーション用に標準サンプルを提供する。これらのファントムは、ポイントスプレッド、マルチレイヤー、ピラミッド、および多目的用デザインをラインナップし、深さ方向分解能、画像コントラスト、感度などのシステムパラメーターの正確なテストを保証し、臨床および研究測定における一貫性を提供する。

さらに、新たに追加された拡散反射ファントムは、バイオフォトンクスアプリケーションにおける校正、特性評価、分析用に、生体組織の光学特性をシミュレートする。これらのファントムは、筋肉、脳、脂肪組織を 25 x 25mm と 50 x 50mm サイズでラインナップし、空間周波数領域イメージング、拡散反射分光、拡散ラマン分光などのアプリケーションに理想的である。

生体組織ファントムの追加は、エドモンド・オプティクスにとって重要なマイルストーンであり、従来の光学部品を超えてポートフォリオを拡大するものである。これにより、バイオフォトンクスの研究者や業界のエンジニアに、標準化されたツールを在庫販売で提供するとともに、研究開発から量産に至るまで、顧客の開発サイクル全体を通じて効果的なソリューション一式を提供するという同社の継続的なコミットメントを示す。

この製品のほか、エドモンド・オプティクスのその他の新製品は、www.edmundoptics.jp の新製品ページで確認することができる。

Edmund Optics について: Edmund Optics® (EO) は、1942 年の創業以来、ライフサイエンス、バイオメディカル、工業検査、半導体、研究開発、防衛をはじめとする様々な市場にサービスを展開するオプティクス、イメージング、フォトンクス技術の大手グローバルサプライヤーです。光学部品、マルチエレメントレンズ、イメージングシステム、オプトメカニカル装置の幅広い設計や製造を行いながら、在庫販売品と特注品の大量生産で OEM アプリケーションをサポートしています。世界十数カ所の主要施設で事業展開する Edmund Optics は、1,100 人以上の従業員を抱え、今もなお拡大を続けています。日本のお客様は、現地法人のエドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社がサービスいたします。当社の製品ラインナップは、EO の日本語版総合カタログ、あるいはウェブサイト (www.edmundoptics.jp) をご覧ください。